

第3回 坂出市中小企業・小規模企業振興会議 会議録

日時：令和2年8月21日（金）10：00～

場所：坂出市役所本庁舎3階 中会議室2

<会議次第>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 委員紹介
4. 事務局説明
5. 委員意見
6. 閉会

<出席委員>

14名（1名欠席）

<事務局からの説明>

- 1) 前回までのまとめ
- 2) 新型コロナウイルス感染症による影響
- 3) 中小企業の抱える課題と支援について

<委員意見>

協議1) 中小企業振興の目標（将来像について）

A：地域（産業や生活）がどうなることを目指すのか、下記のいずれかに関するご意見をお聞かせください。

- ① 持続的な産業構造
- ② 所得向上
- ③ 多様な雇用機会
- ④ 魅力的な消費機会
- ⑤ 地域課題の解決
- ⑥ その他

- ・各企業が今のままで持続できないのであれば、環境の変化に合わせて自発的に変化していく必要がある。
- ・坂出市の強みを生かして、ヘルスケアやウェルネスに関する産業を育てていくことが重要である。そこに、各分野の中小企業の力や技術を投入して、新しい価値を生み出していくこともできる。
- ・少しでも域内の企業に稼いでもらい、資金を雇用に使用してもらうことが重要である。
- ・若い人材、特に大卒や技術系・理工系の人材を吸収できる職場があれば望ましい。
- ・「健幸」という大きなコンセプトに対して、中小企業でも連携してできないかを、業種間で議論していくことが重要である。
- ・中小企業が抱える課題を集約し、インターネットを通じて、外部に発信することで、協力者の発掘や外部人材との接点の増加を目指す。

- ・経営者が起業や投資を行う際に、後押しをしてくれる環境が望ましい。
- ・高齢化社会に向けて、安心安全の街づくりを商店街や坂出駅周辺に展開し、住みやすい坂出市をアピールする。また、モンゴル人を中心とした優秀な外国人材を雇用面だけでなく、市内に居住してもらうことにより、消費面においても活用することが望ましい。
- ・市内に上場企業がなく、優良企業も市外に流出してしまうことから、企業を流出させず育てることが重要だと思う。
- ・企業のデジタル対応や IT 化に向けて、インターネットの高速回線などを含めた最低限のインフラ整備を行う必要がある。
- ・「健幸」や「教育」に独自性を持たせ、産業にしていく必要がある。特に「教育」については、人材や企業を育てるという意味でも重要であると思う。
- ・形だけの企業や支援機関の連携ではなく、真に意味のある連携体制の形成が必要である。
- ・各企業や支援機関が、環境や時代の変化に合わせてレベルアップする必要がある。
- ・「持続的な産業構造」と「地域課題の解決」ができる企業が育ってくれば、他の項目についても自然に良くなると思う。そのためには、今までの坂出の産業も重要であるが、新しいビジネスモデルを作って、前向きに取り組む企業に対して支援を行う必要がある。

B：どんな企業が地域の発展に望ましいか。

- ・インバウンドや技能実習生の増加によって、各企業が外国人と接する機会は増えているが、企業のグローバル展開はあまり増えていない。そのような中で、地元にいながらグローバルな仕事ができる職場があれば望ましい。
- ・地域で稼ぎ、雇用を生んでくれる企業が望ましい。
- ・強靱であり、きちんと雇用を行える企業が望ましい。
- ・従業員が市内に住んでくれる企業が望ましい。
- ・地域に根差す企業は、高齢者に優しい介護や老人福祉関係の企業であると思う。これからは医療だけでなく、介護の力が必要になっていると思う。
- ・現状市内において IT 関係の企業が少ないが、場所を選ばず、収益性も高い分野であるので、優良な IT 関係の企業が集積することが望ましいと考える
- ・坂出市は学校環境や医療環境が整っているため、若者が働きやすい企業が望ましいと思う。